

別記様式(第4条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和8年度第3回 朝霞市公共施設等総合管理計画庁内検討委員会	
開 催 日 時	令和8年7月29日(水) 午前10時から 午前11時まで	
開 催 場 所	朝霞市役所 別館2階 全員協議会室	
出 席 者	(委 員):別紙のとおり (事務局):荻原課長補佐、村沢室長、牧原主任	
会 議 内 容	(1)市庁舎長寿命化改修工事の入札不調に伴う今後の対応について (2)検討会議(福祉等複合施設)の開催状況について (3)朝霞市 PPP/PFI 手法導入優先的検討に関する基本方針の策定及び運用について	
会 議 資 料	資料 1-1 市庁舎長寿命化改修工事の入札不調に伴う今後の対応について 資料 1-2 公共施設の改修・修繕に関する事前相談について 資料 1-3 機能維持や安全確保のため改修等が必要となった場合の判断手順 資料 1-4 工事概要書 資料 2-1 検討会議の開催状況について 資料 2-2 検討会議(福祉等複合施設)における意見交換結果まとめ 資料 2-3 (仮称)朝霞市福祉等複合施設基本設計概要 資料 2-4 (仮称)朝霞市福祉等複合施設基本設計 資料 3-1 朝霞市PPP/PFI手法導入優先的検討に関する基本方針 資料 3-2 PFI ガイドライン(案)概要 資料 3-3 PFI ガイドライン(案) 資料 3-4 PPP・PFI 実施決定フロー	
会 議 録 の 作 成 方 針	☐ 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	☒ 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	☐ 要点記録	
	☐ 電磁的記録での保管(保存年限 年)	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	☒ 会議録の確認後消去 ☐ 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法 出席者の確認及び事務局の決裁	
そ の 他 の 必 要 事 項		

議題(1)市庁舎長寿命化改修工事の入札不調に伴う今後の対応について

■建物系個別施設計画のスケジュールの後ろ倒しについて

「朝霞市建物系公共施設マネジメント実施計画」及び「朝霞市学校施設長寿命化計画」において計画されている設計業務や改修工事のスケジュールが全体的に後ろ倒しされることについて各施設所管課に再周知した。

■改修が必須となる改修項目を切り分けて進めるための事務の流れについて

施設の機能維持や安全確保の観点から、改修が必須となる改修項目を切り分けて進めるための事務の流れについて事務局から説明をした。

公共施設の改修等が必要な際は、まず事前相談を行っていただく。その後、ファシリティマネジメント推進室が都度、検討会議を開催し、所管課が作成する「工事調書」を基にヒアリングを実施する。検討結果は決裁後、所管課に通知され、その後、通常の予算要求プロセス(新規拡充事業調書の提出、ヒアリング、事業採択、予算化)に進む。

【質疑回答の主な内容】

・フローに沿って運用することは当初予算要求提出時期に対してスケジュール的に厳しくないか。

－ まず、意向だけお伝えいただき、相談していただければ調整可能と考える。

なお、各所管課で実施した工事等を随時出していただくと、都度検討会議を開催しないといけないので、令和9年度の当初予算に向けては別途で通知して、工事調書を提出していただき、まとめて諮れるような体制としたい。

・大規模修繕と日常修繕の判断基準はあるか。

－ 資料1－3の裏面に日常的な修繕の事例を列記したので参照していただきたい。判断に迷う場合は、相談していただきたい。

・建物系以外のインフラ等の個別施設計画は対象外か。

－ そのとおりである。

・資料1－4の様式名が既存の入札依頼時の様式名と重複している。

－ 様式名を変更する(工事概要書→工事調書)。

議題(2)検討会議(福祉等複合施設)の開催状況について

東武鉄道と協定を締結し、朝霞台駅及び周辺の再整備、駅周辺の必要な機能及び配置や駅ビルへの機能導入の検討など、駅を中心としたまちづくりに関する事項について連携協力して進めていくことから、福祉等複合施設については近隣の既存公共施設も含めたエリアを対象として、一体的かつ総合的に再検討を進めることとなった。そこで今年度から福祉等複合施設に関する検討会議を開始し、これまでに2回開催しているため、その検討内容について報告を行った。

議題(3)朝霞市PPP／PFI手法導入優先的検討に関する基本方針の策定及び運用について

PPP/PFI手法導入優先的検討に関する基本方針は、国が人口5万人以上の自治体に対し、令和7年度までの策定を要請しており、朝霞市としての基本方針を策定した。

PPP/PFIのスキームや手法、検討の開始時期、対象事業、検討プロセス等について、ポイントを絞って説明を行い、今後の予定として、本日の意見を踏まえ市長決裁を経て全庁に周知する予定であると説明した。

【質疑回答の主な内容】

- ・道路や河川を対象に含める意図は。
 - 事務局からは国の指針に沿ったもので、民間活用による空間創出の可能性など見込むこともできる。

- ・この基本方針は市独自の策定したのか。
 - 国が公表している策定の手引きがあるので、基本的にはその策定の手引きに沿って策定している。

- ・10億円を超える大規模改修工事はすべて検討の対象か。
 - 対象金額以上となる場合は検討対象となる。

- ・指定管理者制度も対象となるか。対象となる場合、基本方針を基に検討するのが先か指定管理の在り方委員会に諮るのが先かスケジュール感も併せて知りたい。
 - 指定管理者制度についても、金額の基準に該当すれば本方針の検討対象となる。具体的なスケジュール感については会議後に改めて精査してお知らせしたい。

- ・内間木公園の拡張整備を今後予定しているが、Park-PFIを検討する前にサウンディング調査を実施したいと考えているが、説明のあったプロセスを踏んでからサウンディング調査をするのか、それともサウンディング調査は先に実施してよいのか。
 - 基本方針の中でも、導入可能性調査というのは実施する予定。導入可能性調査はサウンディングと同義といえるので、基本方針の枠組みの中で実施してもらうのが基本と考えるが、会議後に改めてお知らせしたい。

以上

朝霞市公共施設等総合管理計画庁内検討委員会 委員名簿 (R8.4.1時点)

(機構順)

	部	課	氏名	備考
1	市長公室	市長公室長	又賀 俊一	委員長
2		公室次長兼政策企画課長	櫻井 正樹	
3	危機管理室	副審議監兼危機管理室長	丸山 智也	欠席
4	総務部	財政課長	榎本 智砂子	
5		部次長兼財産管理課長	中谷 博司	
6	市民環境部	部次長兼地域づくり支援課長	中川 隆	
7		産業振興課長	齋藤 欣延	
8		資源リサイクル課長	増田 高志	
9		内間木支所長	木内 浩貴	
10	福祉部	障害福祉課長	竹村 聡	
11		高齢者・地域福祉課長	藤原 真吾	
12	健康部	健康づくり課長	齊藤 大助	
13	こども部	こども未来課長	竹本 好祐	
14		部次長兼保育課長	山木 健	
15	都市建設部	審議監兼部次長兼まちづくり推進課長	塩味 基	
16		開発建築課長	持田 宏行	
17		みどり公園課長	七里 弘仁	
18		部次長兼道路整備課長	深澤 朋和	
19	上下水道部	部次長兼水道施設課長	久保田 哲人	
20		下水道施設課長	松下 俊一	
21	学校教育部	部次長兼教育総務課長	関口 豊樹	
22		教育指導課長	手島 牧子	
23		学校給食課長	星加 敏昭	欠席
24	生涯学習部	部次長兼生涯学習・スポーツ課長	渡邊 雄	
25		文化財課長	西島 和秀	
26		中央公民館長	村山 雅一	代理出席
27		図書館長	増田 潔	